



議会運営委員会

長崎県

福岡県

総務常任委員会

神奈川県

山梨県

## 議会活性化について学ぶ



視察後、川崎町議会の議場を見学

議会運営委員会では、

崎町へ、議会活性化と  
議会基本条例制定後の

11月16日に長崎県長与

町、17日には福岡県川

町へ、議会活性化と  
議会基本条例制定後の

議会運営について、視

察研修を行つてきました。

長与町議会では、議

会条例制定後、条例を

運用するために細かく  
要綱などを制定してい

ました。

川崎町議会では、平

成23年から通年議会を

実施していて、本会議

の開催日数の増加、委

員会活動が活性化し、

議員の出席日数も年間

90日を超えているとの

ことでした。

両町とも、真剣に議

会活性化に取り組んで

いる姿勢がよく見え、

意義ある視察となりま

した。

(委員長 小池 春雄)

## 男女共同参画の先進地に学ぶ

11月7日8日の2日間、神奈川県寒川町と、山梨県富士河口湖町・山梨県立防災安全センターで視察研修を行いました。

寒川町では男女共同参画基本法が制定された翌年、「さむかわ男女共同参画プラン」を策定し、その後も町民とともに関連した、さまざまな取り組みが推進され、その成果も表れています。参考にすることが多くありました。

(委員長 山畠 祐男)

富士河口湖町では、男女共同参画基本法に基づき、女性議員の働きにより、男女共同参画推進本部を立ち上げ、平成18年度から「第1次ふじサンサンプラ



河口湖町での視察

ン」、平成28年3月、「第2次ふじサンサンプラン」を策定し、男女共同参画を推進していくました。町民への理解を深めようとしている様子が、うかがえました。

山梨県立防災安全センターでは災害時の体験談を拝聴し、大きな収穫がありました。

## 「地域包括支援」を学ぶ

10月19日と20日石川

座を開催し、人口の  
10%5千人を目指に推

県津幡町と野々市市で  
視察研修を行いました。

津幡町は金沢市に隣接  
し、新旧住民が在住す  
るまちで、地域間で人  
口や年齢、住民の支え

合う意識に差がありま  
した。福祉の拠点づく

りは個々の地域  
ごとに取り組ん  
でいました。野々  
市市も金沢市と  
隣接し面積も  
13・6平方キロメートル、  
人口5万175

2人と元気なま  
ちです。若者も  
多く地域で支え  
る体制を、認知  
症サポーターの  
確保で取り組ん  
でいます。認知  
症サポーター講



元気なまち野々市市に学ぶ

## 公共下水道と農集排の 統合に向けて

11月17日、長野県飯

跡地の利用について

山市の公共下水道と農  
業集落排水施設の統合  
についての取り組みを

視察研修しました。

飯山市の農業集落排  
水施設は、劣化が早く、  
維持管理費が高額であ  
るため、農集

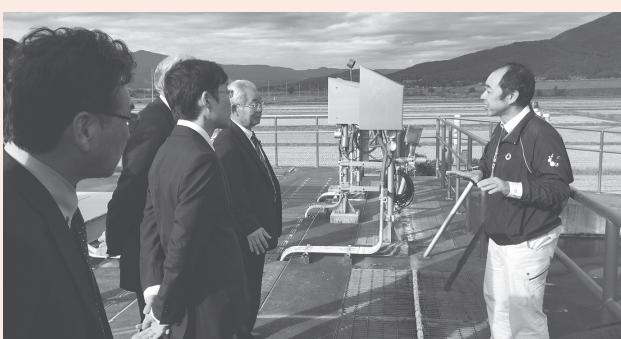
處理場を廃止し、  
近隣の下水処理  
場に接続する事  
業を進めていま  
す。

現在、9カ所  
の内の2カ所は  
済んでおり、統  
合後では、建設  
費と維持管理費  
が364万円削  
減されました。

完了は平成33年  
度予定です。

跡地の利用について  
は、防災備蓄倉庫や防  
火水槽、区民交流セン  
ターなどにと検討され  
ているようです。  
今後の参考にしたい。

(委員長 岩崎 信幸)



研修後、終末処理場を見学

## 群馬用水トンネル視察

12月15日「群馬用水  
緊急改築有馬トンネル

事業費は、30億円。

併設水路工事」の現場  
を視察しました。

水資源機構群馬用水  
管理所の笠所長から、

群馬用水施設は、昭  
和42年通水開始から40  
余年を経過し、老朽  
化により、トンネル内  
のひび割れや地下水が  
多量に浸水するなど劣  
化が進行し、今回、上

運搬で地域住民に大変  
ご迷惑をかけています  
との話がありました。

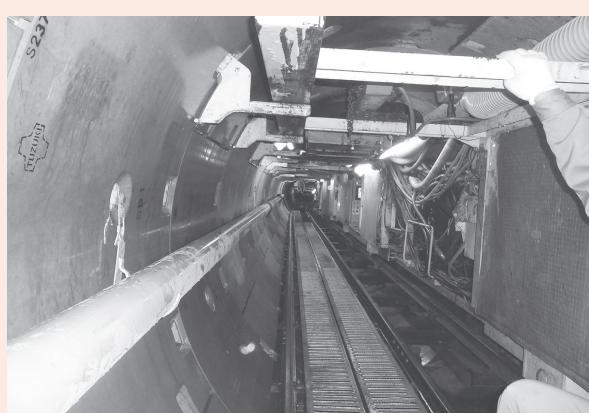
水資源の安定的な確  
保を図るために、大  
変大きな事業です。

(議長 岸 祐次)

馬地区まで  
の約2キロメートル  
に直径2メートル  
の併設水路  
を設置する

野田地区から渋川市有  
料道路まで、この工事  
が実現すれば、群馬  
用水の供給が安定する  
ことになります。

現状は、上野田地区  
の発信基地  
から300トメートルまで工  
事が進んでいます。  
完成は、



掘削中の併設水路